

福島県三島町
広報

平成 25 年 10 月 4 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2013
October

10

No.247

暮らしに恵み

ヒロロ干し作業

写真／ヒロロ（ミヤマカンスゲ）を天日に干す角田米子さん（浅岐）



◎献血の日程

10月30日(水)

◆桐寿苑前

9:30 ~ 11:00

◆町民センター前

12:30 ~ 17:00

【献血ができる方】

◆16歳から69歳までの方

※65歳以上の方については、健康を考慮し、60歳から64歳までの間に、献血の経験がある方に限ります。

◆体重

男性 45kg以上、女性 40kg以上

◆薬を服用中の方、妊娠中の方はご遠慮ください。

☎役場 町民課 ☎(48) 5555

血液は、栄養や酸素の運搬、免疫など、人間の生命を維持するために不可欠です。現在、血液の機能を完全に代替できる手段はありません。輸血は、医療において欠かすことのできない治療法です。皆さまの献血が医療を支えています。献血いただいた血液は、各地の血液センターへ運搬され、検査や成分の分離が行われて血液製剤となり保管されます。患者さんが必要とするときに血液を届けられるように、医療機関からの要請に24時間365日対応しています。

輸血用血液製剤の多くは、不慮の事故等に伴うものではなく、がん（悪性新生物）の患者さんの治療に使用されています。また使用する方の約85%は50歳以上の患者さんになります。

血液の量は、体重の約13分の1です。血液の量の12%を献血していただいても医学的には問題がなく、皆さまにお願いしております。献血の量は安全なものですので、ご安心ください。

また献血後の血液の量は、水分を摂取することにより短時間で回復します。血液の成分が回復する速さは、その成分によって異なります。

献血していただく方の安全を守るために、次の献血ができる日までの日数を定めています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

血液は、
人工的に作ることも、
長く保存することもできません。
あなたの善意だけが頼りです。
献血にご協力を。

人間を救うのは、人間だ。

Our world. Your move.

血液のゆくえ

血液の量・献血の量

10月
目次

2 美しい村美しい風景 Vol.10
山の恵みを頂く暮らし

3 献血のお願い

4 健全財政を維持
平成24年度決算報告

6 7町村の仲間、心一つ。
ふくしま駅伝合同チーム

8 TownNews5 みしまの出来事
市町村対抗軟式野球大会
いい試合見せた！
来年こそ初戦突破誓う

大竹ミツさん、横田トメさん
本当に元気な百歳

秋の交通安全運動街頭キャンペーン／金婚夫婦8組を表彰、敬老会／三町村小学校陸上記録会

10 町民記者通信

三人娘が笛を吹く（滝谷）／学生たちが石垣や水路回り（早戸）／秋の例大祭と「お籠り」（松原）／ダリヤ園やブドウ園を満喫（川井・間方）／5年生が稲刈り体験（宮下）／町民応援団が声援送る／秋祭り賑わす子どもみこし（西方）

広報みしま町民記者募集

12 民話 第31話 兄弟二人と山姥
ゆめぼけつと Book Review

13 浅見晃司作品展 山びこ
中秋の名月にお月見会
東京・日本橋で観光物産展

14 保健・子育て・健康づくり予定／
県立宮下病院から／地域ふれあい
サロン予定／高齢者一般相談・法律（弁護士）相談

15 障害者就職面接会／只見川災害復
旧工事現場見学会／会津坂下警察
署から／ご寄附／10月の納税／
町の人口と世帯

16 三島町 錦秋ウィーク

美女峠ウォーキング
かしや猫ロードトレッキング

編集後記



自生するヒロロ（ミヤマカンスゲ）を採取し、ほぐす作業を行う角田タケノさん（手前）と、角田キイコさん（奥）。山から頂いた材料は、手間暇をかけて自慢の逸品に生まれ変わる

美しい村
美しい風景
Vol.10

編み組細工の材料採取
山の恵みを頂く暮らし

雪深い奥会津地域では、山から採取する材料が、生活する上で欠かせないものでした。その種類や採取の時期・方法などは、先人から代々受け継がれてきた暮らしの知恵です。

採取したヒロロは、天日に干して乾燥させ、編み組細工の材料となります。



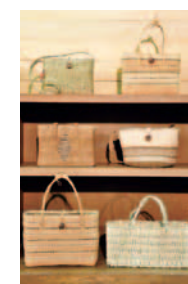
ヒロロ（ミヤマカンスゲ）



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,872人（9月1日現在）



健全財政を維持

平成 24 年度
決算報告

町の一般会計と7つの特別会計の平成24年度決算が、町議会9月定例会で承認されました。一般会計は前年度と比べて、歳入は7.8%減、歳出は8.8%減となりました。減少した理由は、前年度に実施した情報通信基盤整備事業や、各種地域活性化・臨時交付金事業などの終了による事業費の減と、これに伴う町債借入れの減、さらには平成11年度に借り入れた町債（特別養護老人ホーム建設、ビューポイント整備分等）の償還終了によるものです。

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」があります。この法律に基づき、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。当町はすべての値が早期健全化基準を下回っており、健全財政を維持しています。しかし自主財源に乏しく国に頼る財政基盤であるため、今後も慎重に財政運営を進めていきます。

健全化判断比率

判断指標	平成 24 年度	平成 23 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	赤字なし	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%	40.0%
実質公債費比率	9.6%	11.2%	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率	—（※）	—（※）	350.0%	—

（※）平成 23・24 年度の将来負担比率は算定されないため「—」となります。

資金不足比率

対象となる事業	平成 24 年度	平成 23 年度	経営健全化基準
簡 易 水 道 事 業	不足なし	不足なし	20.0%
農 業 集 落 排 水 事 業	不足なし	不足なし	
戸別合併処理浄化槽事業	不足なし	不足なし	

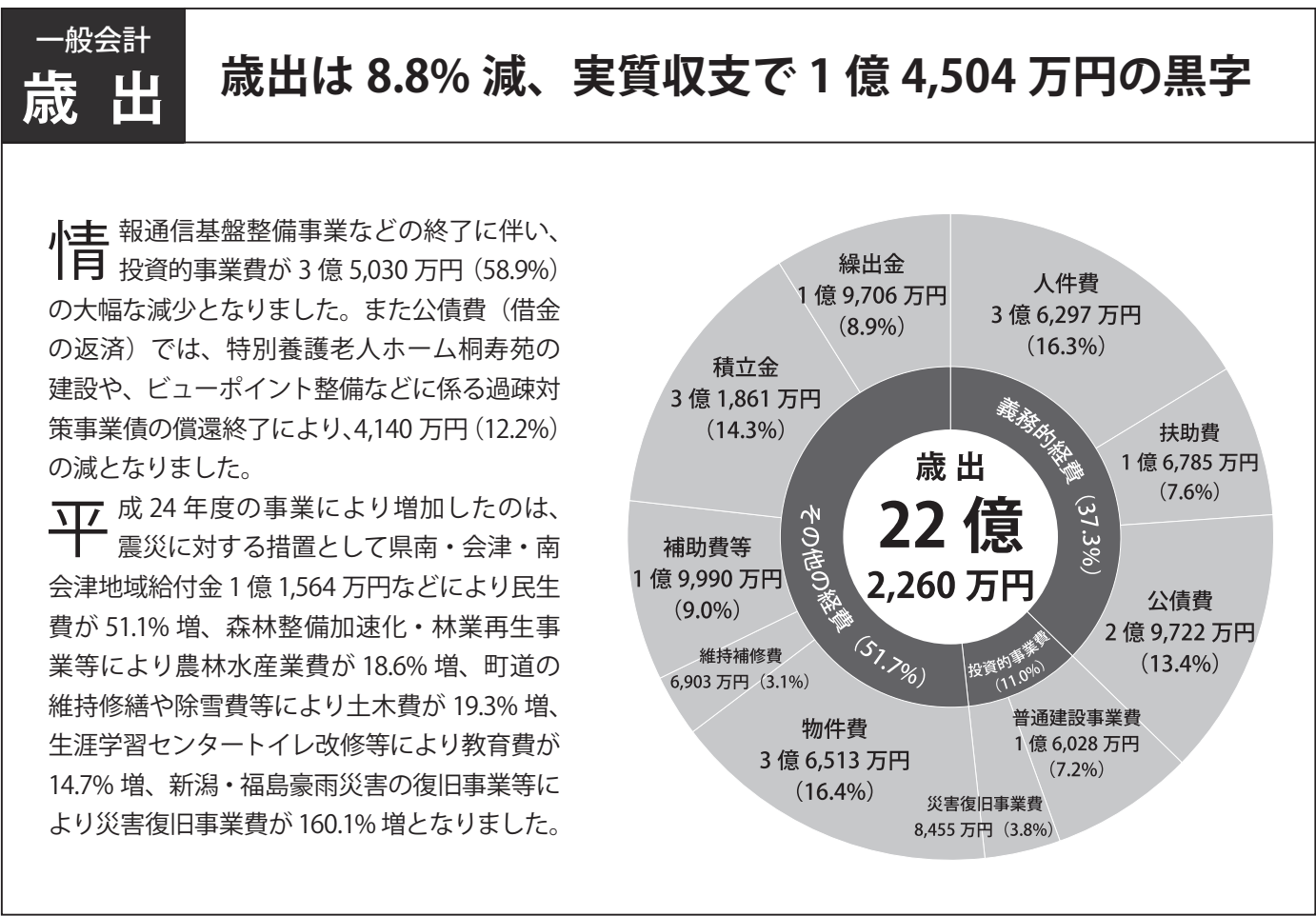
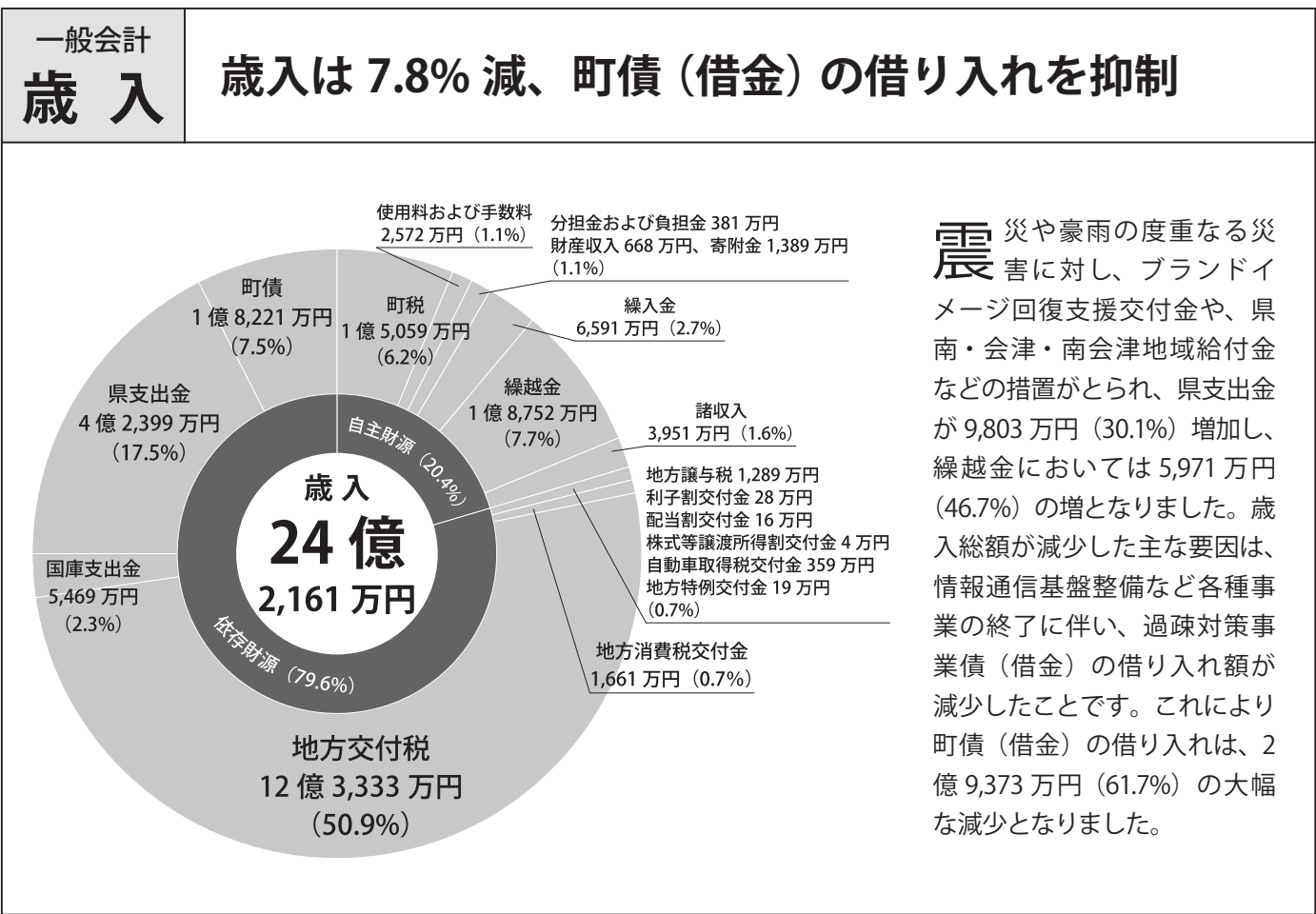
安定した財政運営を維持するとともに、万が一の緊急事態に対応するため、町では基金の維持に努めています。基金には財政調整基金などの積立基金と、各種貸付基金からなる定額運用基金があります。平成24年度は財政調整基金に1億6,290万円を積み増したほか、公共施設整備基金に6,114万円、震災復興基金（ブランドイメー

基 金 種 別	平成 24 年度末残高	増 減
積 立 基 金	14 億 9,593 万円	+ 2 億 4,330 万円
財政調整基金	8 億 3,831 万円	+ 1 億 6,290 万円
その他の各種特定目的基金	6 億 5,762 万円	+ 8,040 万円
定 額 運 用 基 金	1 億 1,415 万円	± 0 円
うち貸付額	7,570 万円	− 563 万円
うち現金	3,845 万円	+ 563 万円

多額の費用を要しても町民のためには、国や県の補助金のほか、返済額の70%が地方交付税で措置される過疎対策事業債などの地方債、いわゆる「借金」をして実施しています。平成24年度末の地方債残高は26億6,979万円（うち一般会計分18億5,933万円）となっていますが、これは健全化判断比率が表す通り健全な範囲内です。今後も重要事業は計画的な借り入れにより実施していきます。

震災や豪雨の度重なる災害に対し、ブランドイメー

ージ回復支援交付金や、県南・会津・南会津地域給付金などの措置がとられ、県支出金が9,803万円（30.1%）増加し、繰越金においては5,971万円（46.7%）の増となりました。歳入総額が減少した主な要因は、情報通信基盤整備など各種事業の終了に伴い、過疎対策事業債（借金）の借り入れ額が減少したことです。これにより町債（借金）の借り入れは、2億9,373万円（61.7%）の大幅な減少となりました。



決算が承認された町議会 9 月定例会



2



1

1,2 スポーツパーク松原湖の400mトラックで練習した選手たち。レースに向けたスピードアップを目指し、400mのインターバル走や10,000mペース走などで走り磨いた

3 起伏のあるクロスカントリコースで走り込んだ

4 腹筋や背筋など、安定した走りの基本となる体幹の補強を全員で行った



4



3



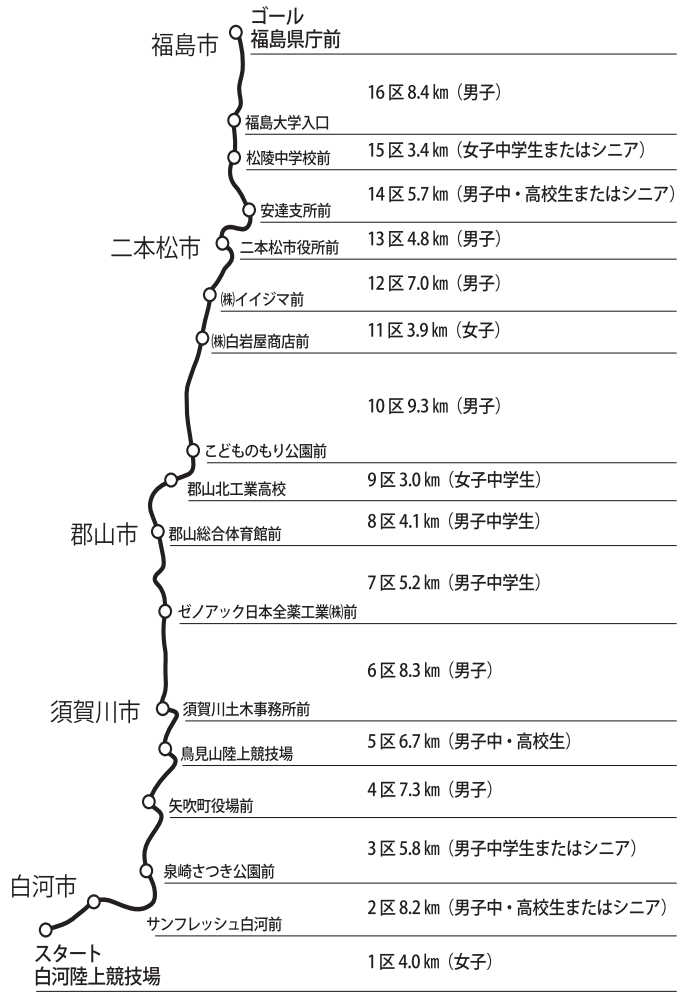
スポーツパーク松原湖（北塩原村）での合宿を行い、結束をさらに強めた合同チーム「希望ふくしま」の皆さん

7 町村合同チーム「希望ふくしま」				
	氏 名	年齢または学年・所属等	町村	
監 督	小松山 淳	34・川口高教諭	—	
コーチ	小林 賢二	28・川口高教諭	—	
アドバイザー	越尾 咲男	66・会津陸上競技協会会長	—	
選手兼コーチ(主将)	北 舘 亮	34・三島町役場	三島	
選手兼コーチ	秋 元 愛	25・ヤギヌマ印刷	川内	
選手（男子）	菅 家 功	45・安積二中教諭	三島	
	竹 内 孝幸	45・昭和中教諭	昭和	
	穴 澤 進	40・檜枝岐村役場	檜枝岐	
	秋 元 正人	33	川内	
	小 松 順哉	32・桐寿苑	三島	
	堀 金 和也	28・自衛隊福島	三島	
	渡 邊 岳之	26・J A会津みどり	湯川	
	小 松 良平	23・双葉地方広域消防	川内	
	五ノ井 浩	23・秋田県立大4年	金山	
	松 本 尚太	22・国際武道大4年	葛尾	
	管 家 和真	18・自衛隊福島	昭和	
	舟 木 裕大	福島東高3年	昭和	
	平 野 源太	会津学鳳高3年	檜枝岐	
	星 将 斗	会津工業高2年	檜枝岐	
	小 俣 汰葵	猪苗代高2年	檜枝岐	
	中 丸 凌太	川口高2年	金山	
	栗 城 雄一	川口高2年	金山	
	栗 城 浩大	川口高2年	金山	
	本 名 将	葵高1年	三島	
	三 瓶 凌	湯川中3年	湯川	
選手（女子）	西山 望	川内中3年	川内	
	栗 田 一路	金山中3年	金山	
	遠 藤 健次	川内中2年	川内	
	板 橋 瑞樹	三島中2年	三島	
	三 瓶 将也	川内中1年	川内	
	渡 部 翔太	金山中1年	金山	
	児 山 恵	28・桐寿苑	三島	
	三 瓶 佳純	葵高3年	湯川	
	五ノ井 優花	川口高2年	金山	
	賀 川 日菜子	川口高2年	金山	
選手（女子）	若 林 優麗	川口高1年	金山	
	五十嵐 輝	湯川中2年	湯川	

第 25 回ふくしま駅伝コース・中継所

白河陸上競技場⇒福島県庁前 全長 95.1km 16 区間

11 月 17 日㊤ 7:40 スタート



第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月17日に開催されます。単独での出場が難しい当町は、主催者の特別措置により、7町村の合同チーム「希望ふくしま」の一員として参加します。

各町村の選手たちは、普段はそれぞれ自主トレーニングを積んでいます。7月27日に会津陸上競技場で結団式と初の合同練習を行い、8月31日には2回目の合同練習を行いました。さらに9月22日・23日には北塩原村のスポーツパーク松原湖で合宿を実施し、400mトラックやクロスカントリコースでの走り

込みを行いました。選手たちは着実に力をつけており、活躍が期待されます。今後は選手選考を兼ねて、10月6日の鶴ヶ城マラソン大会、10月20日の会津坂下いしえ街道マラソン大会に出場し、本番に向けて調整していきます。

当町からは、板橋瑞樹くん（三島中2年・滝原）、本名将くん（葵高1年・西方）、小松順哉さん（桐寿苑・西方）、児山恵子さん（桐寿苑・間方）、堀金和也さん（自衛隊福島・間方出身）、北館亮さん（役場・西方）、菅家功さん（安積二中教諭・高清水出身）の7人が選手登録しています。コーチ兼主将を務める北館さんは「7町村の選手やスタッフにとって素晴らしい経験

となります。心を一気に精いっぱい走り、また次のステップにつながるように頑張ります。わたしたちの走りで、町民の皆さんに元気を届けたいです」と力を込めています。

監督を務める小松山淳さん（川口高教諭）と北館さんは会津高陸上部の同級生。同じく同級生でマラソン選手の佐藤敦之さん（中国電力）や、恩師で会津陸上競技協会長の越尾咲男さんのアドバイスを受けながらチームをまとめ、「出るからには少しでも上位を目指す」と選手の士気を高めています。

7町村の仲間がタスキをつなぐふくしま駅伝。希望を胸に走る選手を応援してください。

特別措置での合同チーム当町からは7人が登録

第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月17日に開催されます。単独での出場が難しい当町は、主催者の特別措置により、7町村の合同チーム「希望ふくしま」の一員として参加します。

第25回ふくしま駅伝 11月17日号砲

7町村の仲間、心一つ。

合同チーム「希望ふくしま」 川内・葛尾・檜枝岐・湯川・金山・昭和・三島



二瓶町長から内閣総理大臣のお祝い状をご自分でしっかりと受け取る大竹ミツさん（上）、横田トメさん（下）

大竹ミツさん、横田トメさん 本当に元気な百歳 内閣総理大臣からお祝い

大正2年生まれの大竹ミツさんと、大正3年生まれの横田トメさん。ともに今年度、満百歳を迎えます。お二人に安倍晋三内閣総理大臣からのお祝い状と記念品が贈られ、二瓶町長から手渡されました。お二人とも自宅にお住まいで、問いかけにも答えることができ、百歳という年齢を感じさせない元気なご様子。まさに健康長寿のお手本です。

三島町高齢者番付（平成25年9月15日現在、満年齢）

【女性】

1	大 竹 ミ ツさん（滝 谷）	99 歳	大正2年11月28日生
2	横 田 ト メさん（高清水）	99 歳	大正3年3月6日生
3	栗 城 キヨイさん（宮 下）	99 歳	大正3年8月12日生

【男性】

1	小 林 貞 司さん（大 谷）	98 歳	大正4年1月22日生
2	山 垣 亘さん（西 方）	97 歳	大正5年7月20日生
3	渡 部 英 一さん（大 登）	96 歳	大正5年12月11日生

寄り添って、支え合って50年 三島町敬老会 金婚夫婦8組を表彰

三島町敬老会は9月4日、森の校舎カタクリ体育館で開催され、満75歳以上の方々が招待されました。福島民報社による「しあわせ金婚夫婦表彰」では、結婚50年を迎えた8組のご夫婦が表彰されました。また満99歳の白寿を迎えた横田トメさん（高清水）、栗城キヨイさん（宮下）、満88歳の米寿を迎えた26人の方々が町から表彰されました。参加者は弁当を食べながら演芸を楽しみ、健康長寿を祝いました。



金婚夫婦表彰を代表で受ける渡辺運さん、恵子さんご夫婦

自己ベストを目指して競い合う 三町村小学校陸上記録会

三町村（三島・金山・昭和）小学校陸上記録会は9月18日、金山小校庭で開催され、4校の5年生・6年生が参加しました。【三島小児童の主な記録】▶6年男子1000m①菅家諒南3分50秒▶6年男子80mH①佐藤史穂16秒22▶6年男子ボール投げ①坂内遙人39m43▶6年女子ボール投げ①青木亜衣35m85▶5年女子100m①高橋春菜17秒36▶5年女子80mH①小平梨々花17秒63▶5年女子走り高跳び①片山心路105cm



三町村の児童が競い合った陸上記録会

いい試合見せた！ 来年こそ初戦突破誓う 市町村対抗野球 川俣町に惜敗



1



2



3

1_ 初出場から6回連続で投げ続けているエース板橋洋平投手（宮下）。経験に勝る打者を相手に力投した／2_ 板橋投手とバッテリーを組む舟木孝幸捕手（桑原）は、ムードメーカーとしてチームを引っ張る／3_ 無得点で迎えた最終回2死、3塁まで走者を進め、山内大介外野手（西方）が鋭い打球を放ったが、惜しくも二塁手のグラブに収まった

三島町チームの成績

	選 手	打数	安打	打点
⑧	佐久間 秀 実	3	0	0
②	舟 木 孝 幸	3	0	0
⑥	二 瓶 祐 也	2	0	0
⑤	二 瓶 健 嗣	3	2	0
③	五十嵐 豊 明	2	1	0
④	佐久間 伸 也	2	0	0
⑦	山 内 大 介	2	0	0
①	板 橋 洋 平	2	1	0
⑨	諏 訪 透	2	0	0
	合 計	21	4	0

	犠打	併殺	残塁	エラー
	2	0	3	1

投 手	打者	被安打	失点
板 橋 洋 平	26	7	3

早めのライト点灯、心にゆとり。 秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動に合わせ、街頭キャンペーンが9月27日、川井地区の国道252号沿いで行われました。町交通対策協議会、交通安全協会三島分会、町交通安全母の会、会津坂下警察署などが参加し、通行するドライバーに交通安全を呼び掛ける記念品を配りました。これからは日没がどんどん早まっていく季節ですので、早めのライト点灯を心掛け、心にゆとりを持って安全運転をしましょう。



国道252号沿いで行われた交通安全街頭キャンペーン



📷 5年生が稲刈り体験 宮下地区

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



稲作を体験する三島小「田んぼの学校」では9月25日に稲刈りを行い、5年生10人が作業を体験しました。宮下地区の「びおたんクラブ」の皆さんに習い、鎌を使って稲を刈り、束にして天日干しにしました。同クラブの栗城隆彦さんが作業の手順を児童たちに説明しました。今後は乾燥するのを待ち、10月17日に脱穀作業を行う予定です。

（写真）稲刈り作業をする三島小5年生の児童たち

📷 町民応援団が声援送る 市町村対抗軟式野球

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

第7回福島県市町村対抗軟式野球大会は、県営あづま球場（福島市）で開幕し、三島町チームは9月23日、川俣町チームとの初戦に臨みました。町では応援団を募り、選手の家族や一般町民の方々が駆け付け、スタンドから熱い声援を送りました。初の1勝を目指す当町は、序盤に得点され、最終回には3塁まで走者を進めましたが1点が遠く、0対3で惜敗。選手たちは来年の初戦突破を誓っていました。

（写真）スタンドから三島町チームを応援する皆さん



📷 秋祭り賑わす子どもみこし 西方地区

文・写真 町民記者 坂内洋二さん（西方）



西方稲荷神社例大祭は9月14日に行われ、恒例の「みこし組」による山車が繰り出し、2基の「子どもみこし」が先導して賑やかに集落を練り歩き、いつもはひっそりとした西方の街が秋祭りらしく大いに華やぎました。

また、途中数力所の休憩所では、子どもたちと若妻会によるよさこいや、スポーツ民謡クラブの踊りが披露され、沿道に集まった人々から喝采を浴びていました。

（写真）秋祭りのみこしをかつぐ子どもたち

広報みしま町民記者

◎ 募集 ◎

町民記者は、現在9人の方に委嘱していますが、やってみたいという方をさらに公募します。気軽に楽しく、広報紙づくりに加わりませんか。

◆公募人数 数人程度

◆任期 1年（ただし再任を妨げません）

◆業務 「広報みしま」への寄稿
（※必ず定期的にということではありませんが、可能な範囲でご協力をお願いするものです）

◆内容 町内の各種活動・話題等で、広報
する内容として認められるもの

◆方法 写真と記事の提供

◆貸与 小型デジタルカメラ1機、腕章

◆報償金 寄稿1件につき2千円

【応募先】役場 地域政策課 ☎（48）5533

📷 三人娘が笛を吹く 滝谷地区

文・写真 町民記者 若林幸代さん（滝谷）



滝谷地区の秋まつりは9月15日、集会所前で行われました。昼間は雨が降りましたが夕方にはあがり、踊りを実施することができました。台風のため、やぐらを建てることができませんでしたが、中学生から青年までが、かねや太鼓のお囃子を立派に行いました。中でも3人の娘さんが上手に笛を吹くのにはびっくりしました。何日も前からベテランの方に習って練習したそうで、大いに祭りを盛り上げてくれました。

（写真）笛を吹く大竹夏奈さん、目黒理奈さん、大竹友恵さん

📷 学生たちが石垣や水路造り 早戸地区

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん（早戸）

早戸温泉つるの湯に隣接する遊歩道で9月16日から20日にかけて、東北芸術工科大学（山形県）の実習が行われました。今回で4回目です。廣瀬俊介准教授をはじめとする教員4人の指導のもと、学生25人が参加しました。その場の環境にふさわしいものを、その場にある材料で造るという考え方に基づき、石垣を組んだり、水路を造ったりしました。地区住民も参加した現地説明会、歓迎会も行われ、大変盛り上がりました。

（写真）学生たちが石垣を組んだ早戸の遊歩道



📷 秋の例大祭と「お籠り」 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）



桧原地区の秋の例大祭は9月14日、同地区の春日神社で行われました。青木基重宮司がお払いを行い、豊作を祈願し、神の恩恵に感謝しました。また夜は春日神社で伝統の「お籠り（おこもり）」を行いました。これは神社や寺に籠り神仏に祈願する行事で、本来は何日か寝泊まりするものです。現在は寝泊まりまではしませんが、夜遅くまで酒をくみ交わしながら、地区住民の絆を確かめ合う行事として受け継いでいます。

（写真）春日神社でお籠りを行った桧原地区の皆さん

📷 ダリヤ園やブドウ園を満喫 川井・間方地区

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）

川井友愛サロンと間方いきいきクラブの合同社会見学会は9月17日、両地区から20人が参加して行われ、山形県川西町のダリヤ園と、南陽市赤湯のブドウ園を訪れました。ダリヤ園では色とりどりの花に歓声を上げ、ブドウ園では山全体を開発した広大なブドウ畑に驚きの声を上げ、食べ放題のブドウ狩りでは今を盛りのナイヤガラ、種無し巨峰などを堪能しました。家族へのお土産も買い求め、楽しい一日を過ごしました。

（写真）山形県南陽市赤湯のブドウ園を訪れた川井と間方の皆さん





能面について解説する浅見さん



鼓を打つ浅見さん



浅見さんの能面作品

能楽は武家の文化

浅見晃司作品展 山びこで10月9日まで

三島在20周年記念・浅見晃司作品展は9月26日から、交流センター山びこで開かれています。会場には浅見さんが制作した能面50点、狂言面10点、創作面14点、彫刻49点などが展示されています。作品の多くは当町の桐を材料として作られています。

オープニングでは、浅見さんが鼓の演奏を披露し、約30人の来場者が迫力ある演奏に聞き入りました。またギャラリートークでは、能楽は公家ではなく武家がつくった文化であることなど、その歴史について分かりやすく解説しました。

浅見さんは埼玉県川口市生まれ。平成5年に桐材のある当町に移住し、能面などの制作を行ってきました。作品展は10月9日まで行っています。

☎ 交流センター山びこ (52) 2165



栗城博子さんに習ったお供え飾り



きれいに見えた中秋の名月

輝く「中秋の名月」に歓声

観光交流館からんころんで9月19日、十五夜のお月見会を行いました。町内から子どもたちを含む30人ほどが参加しました。お供え飾りは、栗城博子さん（宮下）に習い、ソフトボールの大きさの団子をつくり、秋の味覚やススキとともに伝統的な飾りを作りました。月の出を待つ間に親睦会を行い、団子のほか、十五夜の別名『芋名月』にちなみ、旬の里芋を塩茹でして味わいました。また語り部サークル『ちゃんちゃんこの会』の渡部ユキ子さん（荒屋敷）、五十嵐紀美子さん（早戸）による昔語りを聞きました。

満月が見頃の高さにのぼると、参加した皆さんは外に出て、天候に恵まれ大きく輝く「中秋の名月」に歓声を上げました。ふりそぐ月明かりに町並みが照らされ、秋の夜がゆっくりと過ぎていきました。

民話



第31話 兄弟二人と山姥

元話 故小柴モトさん（西方）
文章 五十嵐七重さん（西方）

昔は、よく獵師っていう、キツネとかタヌキとか、山からとってきて食ったりなんかしていたんだべえ。食い物いっぱい背負って山さ行ったど。

兄さんの方が、その日なんぼ歩いても歩いてても、何もなかったんだど。しまいに夜になっちまって、家さ戻れなくなっちまった。困ったなあど思つて、そうしたどに、大きな木のどごさ、ぶつつあげだ提灯がぶら下がっていで、その中から山姥が出て、糸車出して糸引き始めた。これは大変だど思つて、鉄砲持って行ったど。打ったげんじよも、ちつとも当だんねど。山姥はあくびなんどして、「あーあーあー」と言つてんだど。いま一発

打つて、また打つて、もう一発になつて、「はあーこれしかねえ」ど思つて打ったげんじよ当だんねえがら、しょうねえがら逃げだんだど。なんぼ逃げでも人間どは違うがらかなわねえわ。そんでついに食わっちまったんだ。

舎弟の方は、なんぼ兄さん待つちえでも来ねえんだ。

「来ねえなー来ねえなー」ど思つて一晩待つてだど。明日になつても来ねえがら、こんだあわがも兄さんみだぐ食い物いっぱい背負って行ったんだど。そしたらやつぱしその日も何もとんにえくて、暗くなっちまって、今のような魔物が出てきたんだど。

提灯が下がる・・・

糸引きする・・・つて。そしてこんだ、これもあと一発になっちまったがら、神様に祈つて、そしてこんだ思い出したどに、「提灯さぶでば当だる」つていうごど思い出してなあ。山姥の姿でなくて提灯打ったど。そしたらこんだあ当たつて、山姥しとめたんだど。

わがの命は助かったげんじよ、兄さんが山姥に食わっちまって、鉄砲は投げである、骨はそこらに散らばつて・・・兄さんは死んじまっただ。

山姥と鉄砲ぶちの話。ざつと昔、さけた。

Book Review



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 ⑨～⑫ 9:00～21:00 ⑩⑪ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始 ⑨教育委員会 ☎ (48) 5599



会津藩、斗南へ
星亮一 著
三修社

青森県に「会津衆」という言葉が残っている。そこには尊敬の念が込められている。「我々はむざむざ敗れ去ったわけではない」。青森の会津人は胸を張った一。



ケータイ中毒
浪井哲也 著
汐文社

携帯電話を持っている子どもが増えました。でも不安を抱いている大人もいます。携帯電話にはどんな面があるのかを知り、便利に安全に利用する方法を考えましょう。



3.11
つくることが
生きること
中村政人 著
わわプロジェクト

東日本大震災の復興リーダー 19人からのメッセージと、支援に加わった70組のアーティスト・建築家・活動者の多様のプロジェクトを紹介する。



当町の特産品販売でにぎわう会場

(地域おこし協力隊 三浦健太郎)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯（8月）

2件

「割れ窓理論」

「割れ窓理論」とは、「建物の割れた窓を放置すると、ほかの窓もすべて壊される」というもので、軽微な犯罪を見過ぐすとやがて凶悪な犯罪が起こるという理論です。

◆「割れ窓理論」の経過

- ❶割れた窓を放置すると、「誰も地域に関心を払っていない」というサインとなり、犯罪を起こしやすい環境となる。
- ❷ごみのポイ捨てなどが増え、地域環境が悪化する。
- ❸住民のモラルが低下し、地域の安全確保に協力しなくなる。
- ❹犯罪が多発するようになる。

◆このようにならないために

- ❶軽微な犯罪も見過ぐさない見回り・声掛け活動
- ❷ごみはきちんと捨てるなど地域ぐるみでルールを守り、「この地域では犯罪はできない」と思わせる環境をつくる。

街頭犯罪発生件数（1月～8月）

区 分	管 内	三島町
強 盗	1	
空き巣ねらい	2	
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し	1	
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗	2	
自 転 車 盗	14	
自販機ねらい	2	1
車 上 ね ら い		
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	24	1
全 刑 法 犯	80	9

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

只見川災害復旧工事
現場見学会

平成23年新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けた只見川の災害復旧工事は、福島県から受託した国土交通省阿賀川河川事務所が実施しています。普段立ち入ることのできない工事現場の見学会を行いますのでご参加ください。

- ◆日時 10月26日㊥
10:30～11:45
13:15～14:30
- ◆場所 金山町周辺の災害復旧工事現場
- ※奥会津ごつつおまつり会場（金山町町民体育館、JR会津中川駅から徒歩約5分）よりバスでご案内します。
- ◆定員 午前・午後各20人
※申し込み先着順
- ◆締切 10月24日㊤
- ◆申込 阿賀川河川事務所へお電話でお申し込みください。

☎阿賀川河川事務所 工務課
☎0242（26）6441



金山町上田の護岸復旧状況

障害者
就職面接会（若松会場）

就職希望の障害者と求人企業の面接の機会を確保し、障害者の雇用の促進を図ることを目的とした就職面接会を開催します。

- ◆日時 10月22日㊤
13:30～16:00
- ◆場所 会津アピオスペース
（会津若松市インター西90）
- ◆企業 約20社予定
- ☎ハローワーク会津若松
☎0242（26）3333

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附

（ご遺志によるもの）

- 板 橋 久 資 様（滝 原）
- 佐久間 一 男 様（早 戸）
- 千 葉 丈 生 様（滝 原）
- 小 柴 一 男 様（清水）

10月の納税

納期限 10月31日

▶町県民税
第3期（普通徴収）

▶後期高齢者医療保険料
第3期（普通徴収）

忘れずにお納めください。

役場 町民課

町の人口と世帯

9月1日現在

人口	1,872	-8	出生	0
男	901	-2	死亡	8
女	971	-6	転入	3
世帯	839	+2	転出	3

⑨住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

県立宮下病院から

薬剤師のつぶやき

便秘のお話

山田 正人 薬剤師

多くの人が、毎日排便がないことを便秘と思っているようですが、排便習慣には個人差があり、たとえ3日に1回であっても、本人が満足感を得られれば便秘とはいえませんし、毎日排便があっても、排便困難を感じる場合もあります。すなわち「自分で満足できる排便が行われないこと」が、その人にとっての便秘なのです。

便秘の薬としては、腸管内の水分を増やして便を軟らかくし、排泄しやすい状態にする薬や、腸を動かし内容物を下方に送って排便を促す薬などがあります。個々の便秘の原因を明らかにして、症状に合った薬を使用することが大切です。

一般的な便秘の薬は、寝る前に服用して、朝食後に排便があるというのが普通ですが、腸はとてもデリケートな器官です。決まった薬の量を服用しても、ちょっとした体調の変化でお腹が痛くなったり、下痢便になったりしますし、逆に便が硬かったする場合もあります。便秘の薬は、処方通りの量を飲むことも大切ですが、自分の体調に合わせて薬の量を変えることも必要です。

また便秘や下痢が続く場合は、大腸の異常が疑われますので、受診のうえ検査をおすすめします。当院には大腸カメラ等の検査設備も整っておりますので、お困りの方はお気軽にご相談ください。快食快便で1日を爽快に過ごせるようにしましょうね。

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン・間方いきいきクラブ

10月10日㊤ 合同遠足（いわき市）

大石田友遊サロン

10月18日㊤ 遠足（山形方面）

浅岐あったかサロン

11月8日㊤ 10:00～ 浅岐集会所

☎町社会福祉協議会 ☎（52）3344

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎（48）5565



実施予定

4カ月児健診

10月 8日㊤ 11:15～ 坂下厚生総合病院

11月12日㊤ 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

11月 7日㊤ 13:10～ 町民センター

※対象：乳児・1歳6カ月児・2歳児

3歳児健診

10月16日㊤ 13:00～ 柳津町・銀山荘

足腰げんき教室

▶室内運動編

11月27日㊤ 13:30～ 町民センター

▶水中運動編

10月 9日㊤ 13:00 町民センター集合
（西会津町民プールへ送迎）

12月18日㊤ 13:00 町民センター集合
（リステル猪苗代へ送迎）
※参加費 400円

機能訓練会

10月23日㊤ 14:00～ 福寿草

11月13日㊤ 14:00～ 福寿草

心の健康相談（※事前申し込み必要）

10月24日㊤ 13:30～ 福寿草

【申込先】町民課 ☎（48）5565

※この実施予定は、別に配布しました平成25年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。

日ごろの悩み、困りごと、ご相談ください。

高齢者一般相談会

11月7日㊤ 10:30～15:00 福寿草

法律（弁護士）相談

11月7日㊤ 13:00～15:00 福寿草

☎町社会福祉協議会 ☎（52）3344

三島町 錦秋ウィーク

2週にわたってウォーキングイベントが開催されます。
紅葉真っ盛りの大自然の中を歩いてみませんか。



10/27

巡見使が歩いた歴史街道を行く 美女峠ウォーキング

主催/県道小林会津宮下停車場線「美女峠」改良促進期成同盟会 ※荒天中止

申込 電話でお申し込みください。◆三島町役場 産業建設課 ☎ 0241 (48) 5566 締切 10月21日

集合 三島町役場前 ※バスで送迎します。 コース 約7km

参加費 1,000円 (保険、昼食代) ※昼食は昭和村秋味まつりの「そば引換券」をお渡しします。

行程 9:00 三島町役場前発 (送迎バス) → 9:15 美女峠入口 (三島町間方) からウォーキング開始
→ 美女峠山頂 (休憩) → 12:15 昭和村野尻 (送迎バス) → 12:30 昭和村秋味まつり会場 (昼食)
→ 14:30 出発 (送迎バス) → 15:30 三島町役場着、解散

ご準備/トレッキングに適した服装・シューズ、飲み物、雨具、着替え等



11/2

伝説の霊峰志津倉山で、巨木の森に出会う かしゃ猫ロードトレッキング

主催/美女峠の里まがた (三島町間方地区) 共催/三島町観光協会 ※荒天中止

申込 電話でお申し込みください。◆三島町観光協会 ☎ 0241 (48) 5000 締切 10月20日

集合 JR只見線 会津宮下駅前 ※バスで志津倉山登山口へ送迎します。

参加費 1,500円【温泉入湯料込み】 定員 50人 コース 約2km ⑤急勾配の山道です。

行程 9:30 会津宮下駅前発 (送迎バス) → 10:00 登山口着・開会式・安全祈願 → 10:30 トレッキング開始 (案内人同行)
→ トレッキング終了 (送迎バス) → 13:00 昼食・交流会 (間方集会所にて地元の手作り昼食をご用意します)
→ (送迎バス) → 15:00 解散 (会津宮下駅前)・温泉入浴 (宮下温泉)

ご準備/トレッキングに適した服装・シューズ、飲み物、雨具、着替え、入浴の準備等

(参考) JR只見線発着時刻【下り】会津若松駅 7:37 発—会津宮下駅 9:11 着 【上り】会津宮下駅 15:54 発—会津若松駅 17:20 着

編集後記

▼今年度、満百歳を迎える大竹ミツさんと、横田トメさんにお会いしました。お二人とも自宅で生活しており、とても元気な様子でした▼ミツさんは台所に立つこともあるそうです。楽しみは福寿草でのデイサービス。「わたしが一番になったのね」と状況をちゃんと理解し、周りの人と世間話もできるのには驚きました▼トメさんも家族に囲まれ、内閣総理大臣のお祝いが届くのを待っていました。二瓶町長がお祝い状を差し出すと、すっと立ち上がり、しっかりと受け取り、ちゃんとカメラ目線。広報にサービスしていただきました▼百歳といえば夢のような長寿。でもお二人を見てみると普通のことのようです。そういう時代が来るのでしょうか。